## 公開実用 昭和58- 84012

(9 日本国特許庁 (JP)

11 実用新案出願公開

**2 公開実用新案公報**(U)

昭58—84012

5] Int. Cl.<sup>3</sup> A 45 D 34 04 識別記号

庁内整理番号 6671-3B 3公開 昭和58年(1983)6月7日

審査請求 未請求

(全 頁)

紅化粧液塗布用具

乳寒

22出

頭 昭56—180981

■ 昭56(1981)12月3日

2考 案 者 小川利一

東京都江東区大島3の2の6株

式会社古野工業所内

位出 頓 人 株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6

号

- 1. 考案の名称
  - 化粧液塗布甪具
- 2. 実用新案登録請求の範囲

3. 考案の詳細な説明



()

### 公開実用 昭和 58- 84012

本案は、例えばマスカラ塗布用の用具に係る。 このような化粧液は、多すぎても又少なすぎても 塗布に際して都合が悪く、常に適正量が用具に付 者するようにする必要がある。しかし場内に収納 された化粧液は、使用につれて減少するから、場 の化粧液が多いときは多量に、又減少すると少量 だけ上記用具に付着することとなり、使用上不便 を来すこととなる。

3

上記両割棒上部の上半部には、キヤップ14が低合させてある。該キャップは上部内面に凹溝15を有し、又該凹溝下方の内面には螺溝16を有する。その凹溝内には既述突条12を嵌合させ、又螺溝16内には螺条11を螺合させる。両割棒に対してキャップ14は回動可能であり、キャップを一方へ回すと突条付き割棒は、その突条が凹溝内を回るだけ

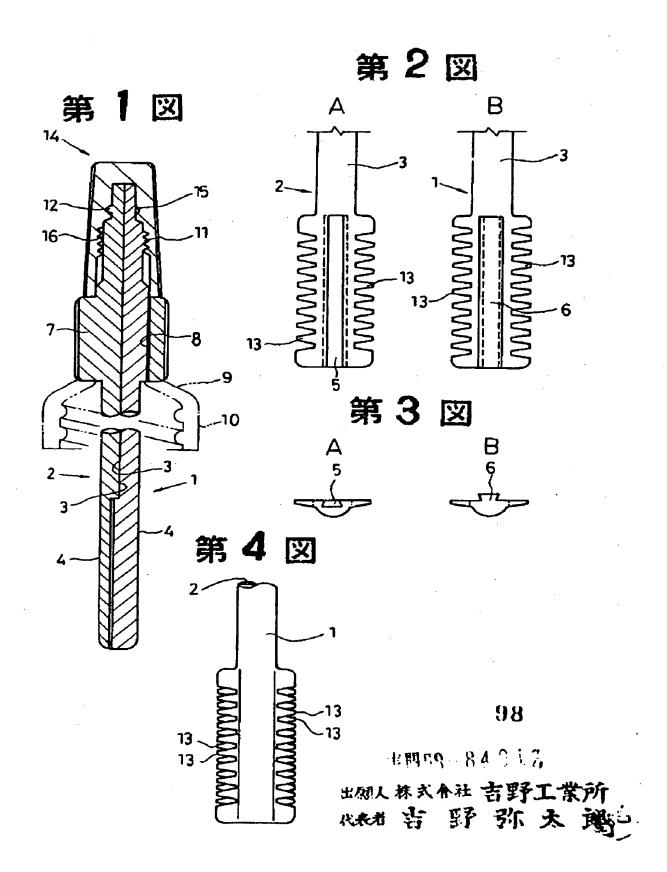
Bは二本の割棒下部の側面図、第3図A、Bは二本の割棒の下端面図、第4図は二本の割棒を重合せてその下部の突子を位置ずれさせた状態での側面図である。

1,2……割棒 14……キャップ

出 願 人 株式会社 吉野工業 所 代 表 者 吉野弥太 晦 \*\*\*



## 公開実用 昭和58- 84012



# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER:

#### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.